

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

ジェイフィード栄養ボトル

再使用禁止

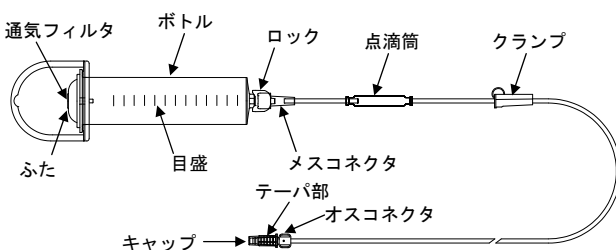
** (セット付き)

【禁忌・禁止】 再使用禁止

**【形状・構造及び原理等】

本品は、ボトル、ふた、メスコネクタ、点滴筒、チューブ、クランプ、オスコネクタからなる。

**〈構成(代表例)〉



**・ボトル容量：100mL

**〈原材料〉

構成部品	原材料	
	DEHPフリー規格	PVCフリー規格
ボトル	ポリプロピレン	
ふた	ポリプロピレン	
通気フィルタ	ポリテトラフルオロエチレン	
メスコネクタ	ポリ塩化ビニル	熱可塑性エラストマー
点滴筒	ポリ塩化ビニル	ポリプロピレン
	ポリプロピレン	ポリブタジエン
	ポリブタジエン	ステンレス鋼
	ステンレス鋼	
チューブ	ポリ塩化ビニル	ポリブタジエン
継ぎ管	ポリ塩化ビニル	アクリロニトリルブタジエンスチレン共重合体
		ポリカーボネート
オスコネクタ	ポリ塩化ビニル	ポリブタジエン

・DEHPフリー規格はポリ塩化ビニル(可塑剤：トリメリット酸トリ(2-エチルヘキシル))を使用している。

〈仕様〉

項目	性能
耐圧性	20kPa
引張強度	15N

【使用目的又は効果】

胃又は腸に挿入したカテーテルと連結して栄養剤、医薬品等を投与する器具。

**【使用方法等】

- 使用方法
 - (1) 包装から本品を取り出します。
 - (2) クランプを完全に閉めます。
 - (3) あらかじめ調製した栄養剤等を、汚染に注意しふたを開けて注入口からボトルに充填後、ふたをします。
 - (4) 充填済ボトルをガートルスタンドにつるします。
 - (5) 栄養剤等を点滴筒の半分程度まで入れてクランプを徐々に開

きます。

- (6) 栄養剤等を本品のオスコネクタまで満たし、クランプを完全に閉めます。
- (7) オスコネクタのキャップを外し、栄養カテーテル等に接続します。
- (8) クランプを徐々に開き速度を調整し、投与を開始します。

**2. 点滴量

1mL ≒ 15 滴、1mL ≒ 60 滴(但し、水の場合)

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. 個包装を開封する際は、はさみ等の刃物を使用しないこと。[本品を傷つけ、液漏れが生じるおそれがある。]
- **2. コネクタ等のテーパ部に栄養剤等が可能な限り付着しないように注意すること。[接続部に緩みが生じるおそれがある。]
3. 点滴量については、一滴あたりの容積が栄養剤等によって異なるおそれがあるので注意すること。
4. プライミング後、点滴筒を横にしたり、傾けたりしないこと。[ライン内に空気が混入し、栄養剤等が流れにくくなるおそれがある。]
5. 栄養カテーテル等を接続する際は、チューブのねじれ、引っ張りに注意すること。[チューブとコネクタの接合面が剥離し、チューブの外れ、液漏れ等が生じるおそれがある。]
6. クランプの調節を行う際は、ローラに対して斜め方向に力を加えないこと。[ローラの破損や脱輪が生じるおそれがある。]
7. クランプを使用した場合は、投与再開時にクランプ部分のチューブの閉塞、変形に注意すること。
8. 鉗子及びクランプはチューブと硬質部品の接合部では操作しないこと。[チューブが破損する、又は接合部が外れるおそれがある。]
- **9. チューブを鉗子等で傷つけないように注意すること。[鉗子の根元又は先端でクランプすると、チューブが破損し液漏れ、空気混入等が生じるおそれがある。]

*【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 使用中は次の事項に注意し、本品を定期的に確認すること。
 - (1) 本品が患者の下敷きになっていたり、ガートルスタンド等に引っ掛かったりしていないこと。[チューブの閉塞、外れ又は構成品の破損が生じるおそれがある。]
 - (2) コネクタの接続部の緩み、液漏れ、破損、閉塞及び空気混入等の異常がないこと。
2. チューブの接合部を曲げたり、チューブを過度に引っ張ったり、押し込むような負荷がかからないようにすること。[接合部の外れ及び液漏れ、チューブの破損等が生じるおそれがある。]
- *3. 本品は自然滴下(落差)方式のみで使用する。
4. 固形物が残る栄養剤等を注入しないこと。また、ボトルの中で溶解、調製する場合は十分に栄養剤等が溶解していることを確認すること。[ラインが詰まる。必要な投与ができない。]
5. 粘度が高い又は不溶解物がある成分栄養剤の投与では、詰まりによる流量の変化のおそれがあるので、流量の管理には十分注意すること。
6. 界面活性剤が含まれた栄養剤等を使用するとふた部分の通気フィルタが親水化され、通気不良が発生するおそれがあるので注意すること。
7. ボトルの目盛は、目安として使用すること。
8. 本品に栄養剤等を充填した状態で長時間の保管及び投与の中

断はしないこと。

9. ボトルを落下させたり、衝撃を加えたりしないこと。[破損及び液漏れが生じるおそれがある。]

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合

空気混入、漏れ、潰れ、外れ、緩み、詰まり、破損

****【保管方法及び有効期間等】**

****〈有効期間〉**

3 年 [自己認証(当社データ)による]

包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社ジェイ・エム・エス

電話番号：082-243-5806